



# 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成26年8月4日

上場会社名 **小野薬品工業株式会社** 上場取引所 東  
 コード番号 4528 URL <http://www.ono.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相良 暁  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 谷 幸雄 (TEL) (06) 6263-5670  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け )

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	31,808	△14.7	2,777	△72.6	3,958	△65.5	2,956	△63.2	2,908	△63.6	8,555	1.4
26年3月期第1四半期	37,299	—	10,120	—	11,476	—	8,027	—	7,991	—	8,437	—
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭				円 銭							
27年3月期第1四半期	27.43				—							
26年3月期第1四半期	75.38				—							

(注)1. 当社グループは、平成26年3月31日に終了する連結会計年度からIFRSを適用しております。従って、平成26年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(注)2. 平成26年3月期第1四半期の各財務数値は、会計方針の一部変更に伴い遡及修正を行っております。詳細は4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	489,204	450,730	446,296	91.2
26年3月期	486,141	451,724	447,327	92.0

(注)平成26年3月期の各財務数値は、会計方針の一部変更に伴い遡及修正を行っております。詳細は4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更」をご覧ください。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	90.00	—	90.00	180.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	90.00	—	90.00	180.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰 属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	68,100	—	10,300	—	11,750	—	8,700	—	8,600	—	81.12
通期	139,000	△3.0	19,200	△27.4	21,800	△26.0	16,200	△21.1	16,000	△21.4	150.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	117,847,500株	26年3月期	117,847,500株
27年3月期1Q	11,836,955株	26年3月期	11,836,546株
27年3月期1Q	106,010,725株	26年3月期1Q	106,016,125株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更 .....	4
3. 要約四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(報告企業) .....	11
(要約四半期連結財務諸表の基礎) .....	11
(重要な会計方針) .....	11
(重要な会計上の見積りおよび見積りを伴う判断) .....	11
(セグメント情報) .....	12
(配当) .....	13
(1株当たり利益) .....	13
(後発事象) .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
4. 補足情報 .....	14
(1) 主な製品の売上収益と予想 .....	14
(2) 海外売上収益 .....	14
(3) 開発品の主な進捗状況 .....	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期(2014年4月～6月)における業績につきましては、以下の通りとなりました。

(単位:百万円)

	2014年3月期 第1四半期連結累計期間	2015年3月期 第1四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上収益	37,299	31,808	△5,491	△14.7%
営業利益	10,120	2,777	△7,343	△72.6%
税引前四半期利益	11,476	3,958	△7,518	△65.5%
四半期利益 (親会社の所有者帰属)	7,991	2,908	△5,083	△63.6%

[売上収益]

売上収益は前年同期比55億円(14.7%)減少の318億円となりました。

- ・講演研究会、説明会など、引き続き積極的な情報提供活動を進めましたが、薬価改定の影響や後発品使用促進策の浸透による影響もあり売上収益は減少となりました。
- ・主要新製品では、2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」は78億円(前年同期比18.3%減)、骨粗鬆症治療剤「リカルボン錠」は22億円(同比14.3%減)、抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐治療剤「イメンドカプセル」、「プロイメンド点滴静注用」は合わせて20億円(同比10.0%減)、アルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチパッチ」は15億円(同比5.1%増)、術中術後の頻脈性不整脈治療剤「注射用オノアクト」は11億円(同比9.1%増)となりました。なお、昨年8月発売の関節リウマチ治療剤「オレンシア皮下注」は5億円、本年5月新発売しましたSGLT2阻害剤である2型糖尿病治療剤「フォシーガ錠」は12億円となりました。
- ・主な長期収載品では、末梢循環障害改善剤「オパルモン錠」は65億円(前年同期比25.0%減)、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「オノンカプセル」は25億円(同比26.7%減)、糖尿病性神経障害治療剤「キネダック錠」は14億円(同比30.9%減)となりました。

[営業利益]

営業利益は前年同期比73億円(72.6%)減少の28億円となりました。

- ・売上原価は前年同期比5億円(6.0%)増加の83億円となりました。
- ・研究開発費は前年同期比9億円(9.0%)減少の92億円となりました。
- ・販売費及び一般管理費(研究開発費を除く)は、新製品フォシーガ錠の営業活動費用が発売当初に大きく発生したことや市販後調査費用が増加したことにより、前年同期比24億円(26.4%)増加の114億円となりました。

[四半期利益](親会社所有者帰属)

四半期利益は前年同期比51億円(63.6%)減少の29億円となりました。

- ・法人所得税は税引前四半期利益の減少などにより前年同期比24億円(70.9%)減少の10億円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、資本およびキャッシュ・フローの状況に関する分析)

(連結財政状態)

(単位：百万円)

	2014年3月期 連結会計年度末	2015年3月期 第1四半期連結会計期間末	増減額
資産合計	486,141	489,204	3,063
親会社所有者帰属持分	447,327	446,296	△1,031
親会社所有者帰属持分比率	92.0%	91.2%	
1株当たり親会社 所有者帰属持分	4,219.63円	4,209.92円	

資産合計は前期末に比べ31億円増の4,892億円となりました。

流動資産は売上債権及びその他の債権や棚卸資産の増加などがあったものの、現金及び現金同等物の減少などから62億円減の1,894億円となりました。

非流動資産は無形資産の増加などから92億円増の2,998億円となりました。

負債は未払法人所得税の減少などがあったものの、仕入債務及びその他の債務やその他の金融負債の増加などから41億円増の385億円となりました。

親会社所有者帰属持分はその他の資本の構成要素の増加があったものの、剰余金の配当による利益剰余金の減少などから10億円減の4,463億円となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	2014年3月期 第1四半期連結累計期間	2015年3月期 第1四半期連結累計期間	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	89,117	104,898	
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,733	△800	△3,533
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,123	△4,391	△6,513
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,681	△8,602	79
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,825	△13,793	
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響額	21	12	
現金及び現金同等物の期末残高	85,313	91,117	

当第1四半期の現金及び現金同等物の増減額は、138億円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益40億円、減価償却費及び償却費15億円、法人所得税等の支払額45億円、棚卸資産の増加額30億円などがあり8億円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資の売却及び償還による収入61億円があり、一方では無形資産の取得による支出88億円、有形固定資産の取得による支出16億円などにより44億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払いから86億円の支出となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期の業績につきましては、2014年5月13日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下の項目を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

(会計方針の変更)

【新会計基準の適用の影響】

当社グループが当第1四半期連結累計期間より適用している基準等は以下のとおりであります。

IFRS		新設・改訂の概要
IAS 第32号	金融商品：表示	金融資産と金融負債の相殺
IAS 第36号	資産の減損	非金融資産の回収可能価額の開示
IFRIC 第21号	賦課金	賦課金の会計処理の明確化

上記基準等は、それぞれの経過措置に準拠して適用しており、比較情報について遡及修正を行っております。

上記基準等の適用による要約四半期連結財務諸表への重要な影響はありません。

【棚卸資産の評価方法の変更】

棚卸資産の評価方法は、従来、主として先入先出法によっておりましたが、当第1四半期連結累計期間より主として総平均法に変更しております。

この評価方法の変更は、当期より新しい原価システムを導入し、棚卸資産の評価および期間損益計算をより迅速かつ適正にするために行ったものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

## 3. 要約四半期連結財務諸表

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2014年3月31日) (百万円)	当第1四半期 連結会計期間 (2014年6月30日) (百万円)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	104,898	91,117
売上債権及びその他の債権	42,240	46,973
有価証券	22,295	22,160
その他の金融資産	905	800
棚卸資産	24,261	27,283
その他の流動資産	958	1,041
流動資産合計	195,557	189,374
非流動資産		
有形固定資産	59,147	60,030
無形資産	22,690	31,667
投資有価証券	188,360	191,073
持分法で会計処理 されている投資	1,008	1,009
その他の金融資産	5,913	5,991
繰延税金資産	10,003	6,912
退職給付に係る資産	905	636
その他の非流動資産	2,559	2,513
非流動資産合計	290,585	299,830
資産合計	486,141	489,204

	前連結会計年度 (2014年3月31日) (百万円)	当第1四半期 連結会計期間 (2014年6月30日) (百万円)
負債及び資本		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	11,288	15,481
借入金	508	492
その他の金融負債	846	3,977
未払法人所得税	4,303	864
引当金	1,063	670
その他の流動負債	10,264	10,798
流動負債合計	28,272	32,282
非流動負債		
借入金	468	393
その他の金融負債	17	17
退職給付に係る負債	3,945	4,129
引当金	87	88
繰延税金負債	1,002	968
その他の非流動負債	626	597
非流動負債合計	6,146	6,192
負債合計	34,418	38,474
資本		
資本金	17,358	17,358
資本剰余金	17,080	17,080
自己株式	△59,274	△59,278
その他の資本の構成要素	15,626	21,259
利益剰余金	456,537	449,877
親会社の所有者に 帰属する持分	447,327	446,296
非支配持分	4,397	4,434
資本合計	451,724	450,730
負債及び資本合計	486,141	489,204



## (2) 要約四半期連結損益計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日) (百万円)
売上収益	37,299	31,808
売上原価	△7,831	△8,301
売上総利益	29,469	23,507
販売費及び一般管理費	△9,027	△11,412
研究開発費	△10,117	△9,209
その他の収益	29	28
その他の費用	△234	△136
営業利益	10,120	2,777
金融収益	1,476	1,284
金融費用	△123	△115
持分法による投資利益	3	13
税引前四半期利益	11,476	3,958
法人所得税	△3,449	△1,002
四半期利益	8,027	2,956
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	7,991	2,908
非支配持分	36	48
四半期利益	8,027	2,956
1株当たり四半期利益：		
基本的1株当たり四半期利益(円)	75.38	27.43
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日) (百万円)
四半期利益	8,027	2,956
その他の包括利益：		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動	141	5,678
確定給付制度の再測定	72	△28
持分法適用会社のその他の包括利益を 通じて測定する金融資産の公正価値の 純変動に対する持分	△1	△11
純損益に振り替えられることのない 項目合計	212	5,639
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	148	△27
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動	49	△13
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目合計	198	△40
その他の包括利益合計	410	5,599
四半期包括利益合計	8,437	8,555
四半期包括利益合計の帰属：		
親会社の所有者	8,400	8,514
非支配持分	37	41
四半期包括利益合計	8,437	8,555

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分							資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	利益 剰余金	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配 持分	
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
2013年4月1日現在残高	17,358	17,080	△59,231	8,198	454,681	438,086	4,190	442,276
四半期利益					7,991	7,991	36	8,027
その他の包括利益				409		409	1	410
四半期包括利益合計	—	—	—	409	7,991	8,400	37	8,437
自己株式の取得			△4			△4		△4
剰余金の配当					△9,541	△9,541	△3	△9,545
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替				△71	71	—		—
所有者との取引合計	—	—	△4	△71	△9,470	△9,546	△3	△9,549
2013年6月30日現在残高	17,358	17,080	△59,235	8,535	453,202	436,940	4,224	441,164

当第1四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分							資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	利益 剰余金	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配 持分	
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
2014年4月1日現在残高	17,358	17,080	△59,274	15,626	456,537	447,327	4,397	451,724
四半期利益					2,908	2,908	48	2,956
その他の包括利益				5,605		5,605	△6	5,599
四半期包括利益合計	—	—	—	5,605	2,908	8,514	41	8,555
自己株式の取得			△3			△3		△3
剰余金の配当					△9,541	△9,541	△4	△9,545
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替				28	△28	—		—
所有者との取引合計	—	—	△3	28	△9,569	△9,544	△4	△9,548
2014年6月30日現在残高	17,358	17,080	△59,278	21,259	449,877	446,296	4,434	450,730

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日) (百万円)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期利益	11,476	3,958
減価償却費及び償却費	1,207	1,487
減損損失	1	—
受取利息及び受取配当金	△1,327	△1,282
支払利息	2	4
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,512	△3,022
売上債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△6,940	△4,733
仕入債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	1,786	3,156
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	131	139
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	252	271
その他	1,981	2,375
小計	7,058	2,353
利息の受取額	190	128
配当金の受取額	1,175	1,172
利息の支払額	△2	△4
法人所得税等の支払額	△5,688	△4,450
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,733	△800
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,074	△1,609
無形資産の取得による支出	△3,073	△8,777
投資の取得による支出	△11,595	—
投資の売却及び償還による収入	18,201	6,120
その他	△335	△124
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,123	△4,391
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△8,697	△8,490
非支配持分への配当金の支払額	△3	△4
長期借入金の返済による支出	△118	△128
短期借入金の純増減額	141	23
自己株式の取得による支出	△4	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,681	△8,602
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,825	△13,793
現金及び現金同等物の期首残高	89,117	104,898
現金及び現金同等物に係る 為替変動による影響額	21	12
現金及び現金同等物の四半期末残高	85,313	91,117

## (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

### (報告企業)

小野薬品工業株式会社(以下、当社)は日本国籍の株式会社であります。当社の登記している本社および主要な事業所の住所はホームページ(URL <http://www.ono.co.jp/>)で開示しております。

当社グループの要約四半期連結財務諸表は2014年6月30日を期末日とし、当社および子会社、並びに当社の関連会社に対する持分により構成されております。当社グループは、医療用、一般用医薬品の製造・販売を行っております。当社グループの事業内容および主要な活動は、「(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報)」に記載しております。

### (要約四半期連結財務諸表の基礎)

#### (1) 準拠する会計基準

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、四半期連結財務諸表規則第1条の2に掲げる「特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、国際会計基準(以下、「IFRS」という。)に準拠して作成しております。

要約四半期連結財務諸表はIAS第34号に準拠して作成しており、年度の連結財務諸表で要求される全ての情報を含んでおりません。要約四半期連結財務諸表は、2014年3月31日に終了した前連結会計年度の連結財務諸表と併せて利用されるべきものであります。

#### (2) 測定の基礎

要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定している金融商品などを除き、取得原価を基礎として作成しております。

#### (3) 機能通貨および表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、特に注釈のない限り、百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

### (重要な会計方針)

重要な会計方針に関しては、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更」をご覧ください。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しております。

### (重要な会計上の見積りおよび見積りを伴う判断)

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、収益および費用、資産および負債の測定に関する経営者の見積りおよび仮定を含んでおります。これらの見積りおよび仮定は過去の実績および四半期決算日において合理的であると考えられる様々な要因などを勘案した経営者の最善の判断に基づいております。しかし、その性質上、将来において、これらの見積りおよび仮定とは異なる結果となる可能性があります。

見積りおよびその基礎となる仮定は経営者により継続して見直されております。これらの見積りおよび仮定の見直しによる影響は、その見積りおよび仮定を見直した期間およびそれ以降の期間において認識しております。

当社グループの要約四半期連結財務諸表で認識する金額に重要な影響を与える見積りおよび仮定は、原則として前連結会計年度と同様であります。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメント

当社グループは「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、いまだ満たされない医療ニーズに応えるため、真に患者さんのためになる革新的な新薬の創製を目指し、医薬品事業(研究開発、仕入、製造、販売事業)の単一セグメントに経営資源を集中し事業を行っております。このため報告セグメント別の記載は省略しております。

## (2) 売上収益の内訳

売上収益の内訳は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日) (百万円)
循環呼吸器系薬剤	16,311	12,888
代謝性薬剤	12,759	11,892
消化器系薬剤	4,371	3,634
神経系用薬剤	1,286	1,344
泌尿器系薬剤	1,496	1,111
化学療法、ホルモン剤他	319	271
その他	757	668
合計	37,299	31,808

## (3) 地域別情報

外部顧客からの地域別売上収益は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日) (百万円)
日本	36,700	31,277
欧州	182	138
アジア	417	393
合計	37,299	31,808

(注) 売上収益は販売仕向先の所在地によっております。

## (4) 主要な顧客に関する情報

主要顧客に対する売上収益は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日) (百万円)
(株)メディセオ	8,582	7,618
(株)スズケン	6,644	5,280
東邦薬品(株)	5,062	3,990
アルフレッサ(株)	4,521	3,623

(配当)

(1) 配当金支払額

前第1四半期連結累計期間

決議日	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2013年6月26日 定時株主総会	普通株式	9,541	90	2013年3月31日	2013年6月27日

当第1四半期連結累計期間

決議日	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2014年6月27日 定時株主総会	普通株式	9,541	90	2014年3月31日	2014年6月30日

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

前第1四半期連結累計期間

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間

該当事項はありません。

(1株当たり利益)

(1) 基本的1株当たり四半期利益は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)
基本的1株当たり四半期利益	75.38円	27.43円

(2) 基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎

基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	7,991百万円	2,908百万円
発行済普通株式の 加重平均株式数	106,016千株	106,010千株

なお、希薄化後1株当たり四半期利益については、希薄化効果を有する株式が存在しないため記載しておりません。

(後発事象)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 主な製品の売上収益と予想

(単位：億円)

製品名	2015年3月期 第1四半期連結累計期間			当連結会計年度		
	実績	前年同期比		予想	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
グラクティブ錠	78	△18	△18.3%	320	△37	△10.3%
オパールモン錠	65	△22	△25.0%	285	△40	△12.3%
リカルボン錠	22	△4	△14.3%	120	+9	+8.1%
イメンド/プロイメンド	20	△2	△10.0%	105	+17	+19.9%
オノンカプセル	25	△9	△26.7%	105	△30	△22.0%
リバスタッチパッチ	15	+1	+5.1%	80	+16	+25.2%
フオイパン錠	17	△5	△23.0%	70	△10	△12.6%
ステーブラ錠	12	△4	△25.4%	65	-	-
注射用オノアクト	11	+1	+9.1%	60	+16	+36.9%
キネダック錠	14	△6	△30.9%	60	△14	△19.1%
オノンドライシロップ	14	△3	△16.8%	60	△9	△13.0%
オレンシア皮下注	5	(2013年8月発売)		30	+22	+276.4%
注射用エラスポール	7	△2	△25.4%	30	△5	△15.0%
フォシーガ錠	12	(2014年5月発売)		30		

(注) 仕切価格(出荷価格)ベースで売上を開示しております。

## (2) 海外売上収益

(単位：億円)

	2014年3月期 第1四半期連結累計期間	2015年3月期 第1四半期連結累計期間
	海外売上収益合計	6
売上収益比率	1.6%	1.7%

## 主要輸出先

韓国、イタリア、ドイツ、オランダ、台湾など

## 主要輸出品目

オパールモン、プロスタンディン、フオイパン、プレグランディン、オノン、エフォーワイなど



## (3) 開発品の主な進捗状況

平成26年8月4日現在

## 1. 国内開発品状況

## &lt;承認取得開発品&gt;

製品名/開発コード	区分	予定効能/薬理作用	剤型	
グラクティブ錠 <sup>*1</sup> (ONO-5435) /MK-0431	効能追加	2型糖尿病(速効型インスリン分泌促進薬との併用療法) /DPP-4阻害作用	錠	共同 (米メルク社)
オブジーボ点滴静注20mg、 100mg <sup>*2</sup> (ONO-4538) /BMS-936558	新有効成分	根治切除不能な悪性黒色腫 /ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体	注射	自社

平成26年3月期決算発表(平成26年5月13日)時点からの変更点

※1: 2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」は、「2型糖尿病」を効能・効果とした一部変更承認を取得しました。

※2: 抗PD-1抗体「ONO-4538」は、「根治切除不能な悪性黒色腫」を効能・効果とした製造販売承認を取得しました。

## &lt;申請中開発品&gt;

製品名/製品名候補 /開発コード	区分	予定効能/薬理作用	剤型	
オパルモン錠 (OP-1206・α-CD)	剤型変更	閉塞性血栓血管炎、腰部脊柱管狭窄症 /血管拡張作用	錠	共同 (大日本住友製薬株式会社)
オノアクト点滴静注用150mg (ONO-1101)	剤型追加	手術後の循環動態監視下における頻脈性不整脈、心機能低下例における頻脈性不整脈/ $\beta_1$ 遮断作用(短時間作用型)	注射	自社

## &lt;臨床試験中開発品&gt;

製品名/製品名候補 /開発コード/一般名	区分	予定効能/薬理作用	フェーズ	剤型	
プロイメンド点滴静注用 (ONO-7847) /MK-0517	小児での 効能追加	抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐 /ニューロキニン1受容体拮抗作用	Ⅲ	注射	導入 (米メルク社)
リバスタッチパッチ (ONO-2540) /ENA713D	用法変更	アルツハイマー型認知症 /コリンエステラーゼ阻害作用	Ⅲ	経皮 吸収剤	共同 (ノバルティス社)
オブジーボ点滴静注 (ONO-4538) /BMS-936558	効能追加	腎細胞がん /ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体	Ⅲ	注射	自社
オレンシア点滴静注用 (ONO-4164) /BMS-188667	効能追加	若年性特発性関節炎 /T細胞活性化抑制作用	Ⅲ	注射	共同 (ブリistol・マイ ヤーズ スクイブ社)
オレンシア点滴静注用 (ONO-4164) /BMS-188667	効能追加	ループス腎炎 /T細胞活性化抑制作用	Ⅲ	注射	共同 (ブリistol・マイ ヤーズ スクイブ社)
ONO-7057 /カルフィルゾミブ	新有効成分	多発性骨髄腫 /プロテアソーム阻害作用	Ⅲ	注射	導入 (オニキス社)
ONO-2745 /CNS 7056	新有効成分	全身麻酔/GABA <sub>A</sub> 受容体作動作用 (短時間作用型)	Ⅱ/Ⅲ	注射	導入 (パイオン社)
ONO-7165 /EMD531444	新有効成分	非小細胞肺癌 /腫瘍抗原MUC-1由来ペプチドワクチン	Ⅱ	注射	共同 (独メルク社)
ONO-7643 /RC-1291	新有効成分	がん悪液質/グレリン様作用	Ⅱ	錠	導入 (ヘルシン社)

製品名／製品名候補 ／開発コード／一般名	区分	予定効能／薬理作用	フェーズ	剤型	
オブジーボ点滴静注 (ONO-4538) /BMS-936558	効能追加	食道がん ／ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体	Ⅱ	注射	自社
オブジーボ点滴静注 (ONO-4538) /BMS-936558	効能追加	非小細胞肺癌 ／ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体	Ⅱ	注射	自社
ONO-1162 /Ivabradine	新有効成分	慢性心不全／I f チャネル阻害作用	Ⅱ	錠	導入 (セルヴィエ社)
ONO-5163 /AMG-416	新有効成分	二次性副甲状腺機能亢進症 ／カルシウム受容体作動作用	Ⅰ/Ⅱ	注射	導入 (アムジェン社)
ONO-6950	新有効成分	気管支喘息 ／ロイコトリエン受容体拮抗作用	Ⅰ	錠	自社
ONO-7056 /Salirasib	新有効成分	固形がん／Rasシグナル阻害作用	Ⅰ	錠	導入 (カドモン社)
ONO-7268MX1	新有効成分	肝細胞がん／ペプチドワクチン	Ⅰ	注射	導入 (オンコセラビー・サイエ ンス株式会社)
ONO-7268MX2	新有効成分	肝細胞がん／ペプチドワクチン	Ⅰ	注射	導入 (オンコセラビー・サイエ ンス株式会社)
ONO-2160 /CD	新有効成分	パーキンソン病 ／レボドパプロドラグ	Ⅰ	錠	自社
ONO-4053	新有効成分	アレルギー性鼻炎 ／プロスタグランディンD2受容体拮抗作用	Ⅰ	錠	自社
ONO-2370 <sup>*3</sup> /Opicapone	新有効成分	パーキンソン病 ／長時間作用型COMT阻害作用	Ⅰ	錠	導入 (ビアル社)

平成26年3月期決算発表（平成26年5月13日）時点からの変更点

※3：長時間作用型COMT阻害薬「ONO-2370」は、日本人健康成人男性を対象としたフェーズⅠ試験を開始しました。

※：S1P受容体作動薬「ONO-4641」は、多発性硬化症を対象としたフェーズⅡ試験を実施していましたが、外部環境の変化に伴い、多発性硬化症を対象とした開発を中止しました。

※：μオピオイド受容体拮抗薬「ONO-3849」は、戦略上の理由により、開発を中止しました。

なお、抗がん剤において、同じ予定効能（癌腫）の場合は、最も進んでいるフェーズ（臨床ステージ）を記載しております。

## 2. 国外開発品状況

### <臨床試験中開発品>

製品名／製品名候補 ／開発コード	区分	予定効能／薬理作用	フェーズ	剤型	
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	腎細胞がん ／ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体	Ⅲ	注射	導出 (プリストル・マイ ヤーズ スクイブ社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	非小細胞肺癌 ／ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体	Ⅲ	注射	導出 (プリストル・マイ ヤーズ スクイブ社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	悪性黒色腫 ／ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体	Ⅲ	注射	導出 (プリストル・マイ ヤーズ スクイブ社)
ONO-4538 <sup>*4</sup> /BMS-936558	新有効成分	頭頸部がん ／ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体	Ⅲ	注射	導出 (プリストル・マイ ヤーズ スクイブ社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	膠芽腫 ／ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体	Ⅱ	注射	導出 (プリストル・マイ ヤーズ スクイブ社)

製品名／製品名候補 ／開発コード	区分	予定効能／薬理作用	フェーズ	剤型	
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 ／ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体	Ⅱ	注射	導出 (ブリストル・マイ ヤーズ スクイブ社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	濾胞性リンパ腫 ／ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体	Ⅱ	注射	導出 (ブリストル・マイ ヤーズ スクイブ社)
ONO-6950	新有効成分	気管支喘息 ／ロイコトリエン受容体拮抗作用	Ⅱ	錠	自社
ONO-4053	新有効成分	アレルギー性鼻炎 ／プロスタグランジンD <sub>2</sub> 受容体拮抗作用	Ⅱ	錠	自社
ONO-2952	新有効成分	過敏性腸症候群／TSPO (トランスロケータープロテイン) 拮抗作用	Ⅱ	錠	自社
ONO-9054	新有効成分	緑内障・高眼圧症／プロスタグランジン受 容体 (FP/EP <sub>3</sub> ) 作動作用	Ⅱ	点眼	自社
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	固形がん (トリプルネガティブ乳がん, 胃が ん, 膵がん, 小細胞肺がん, 膀胱がん) ／ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体	I/Ⅱ	注射	導出 (ブリストル・マイ ヤーズ スクイブ社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	大腸がん ／ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体	I/Ⅱ	注射	導出 (ブリストル・マイ ヤーズ スクイブ社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	肝細胞がん ／ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体	I	注射	導出 (ブリストル・マイ ヤーズ スクイブ社)
ONO-4538 <sup>※5</sup> /BMS-936558	新有効成分	慢性骨髄性白血病 ／ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体	I	注射	導出 (ブリストル・マイ ヤーズ スクイブ社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	C型肝炎 ／ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体	I	注射	導出 (ブリストル・マイ ヤーズ スクイブ社)
ONO-4059	新有効成分	B細胞リンパ腫 ／ Bruton's tyrosine kinase (Btk) 阻害 作用	I	カプセル	自社
ONO-8055	新有効成分	低活動膀胱／プロスタグランジン受容体 (EP <sub>2</sub> /EP <sub>3</sub> ) 作動作用	I	錠	自社
ONO-8539	新有効成分	胃食道逆流症／プロスタグランジン受容体 (EP <sub>1</sub> ) 拮抗作用	I	錠	自社
ONO-1266	新有効成分	門脈圧亢進症／S <sub>1</sub> P受容体拮抗作用	I	カプセル	自社
ONO-4232	新有効成分	急性心不全／プロスタグランジン受容体 (EP <sub>4</sub> ) 作動作用	I	注射	自社

平成26年3月期決算発表 (平成26年5月13日) 時点からの変更点

※4: ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体「ONO-4538/BMS-936558」は、頭頸部がんを対象としたフェーズⅢ試験を開始しました。

※5: ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体「ONO-4538/BMS-936558」は、慢性骨髄性白血病を対象としたフェーズⅠ試験を開始しました。

※: S<sub>1</sub>P受容体作動薬「ONO-4641」は、多発性硬化症を対象としたフェーズⅡ試験を実施しておりましたが、外部環境の変化に伴い、多発性硬化症を対象とした開発を中止しました。

なお、抗がん剤において、同じ予定効能 (癌腫) の場合は、最も進んでいるフェーズ (臨床ステージ) を記載しております。